Ochanomizu University

【評価基準達成への取り組み】

「お茶大インデックス」を用いた教育・研究機関の雇用環境評価

お茶の水女子大学
グローバルリーダーシップ研究所
特任講師　内藤 章江

2021.12.8

1. 「お茶大インデックス」とは

2. 「お茶大インデックス」を用いた
教育・研究機関の雇用環境評価

3. 評価結果の活用

1. 「お茶大インデックス」とは

①
2006～2008年度　科学技術振興調整費
女性研究者支援モデル育成事業
「女性研究者に適合した雇用環境モデルの構築」に採択

↓

②
学長のリーダーシップのもと、
女性研究者が研究と出産・育児を両立させて
その能力を十分に発揮できる仕組みを構築

↓

全国初

③
教育・研究機関における雇用環境の自己評価指標
（女性が働きやすい雇用環境を構築するためのチェックシート）
「お茶大インデックス」を開発

お茶の水女子大学 Ochanomizu University

文部科学省 科学技術振興調整費 女性研究者支援モデル育成プログラム(H18-20年度)

【研究教育機関向け】 女性が働きやすい雇用環境を構築するためのチェック フィフティ 50

お茶大インデックス

お茶の水女子大学の女性研究者支援活動からうまれた「お茶大インデックス」は、研究教育機関において、女性が仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を実現し、子育て中でも充実した研究生活をおくる雇用環境を構築するための取組状況を指標にしたものです。
1～50のチェック項目それぞれに、あなたの所属する機関の状況について、Ⅰ～Ⅲの当てはまるものひとつに○を付けてください。各機関での女性研究者支援の取り組みがわかります。評価はあくまでも目やすです。今後の活動の参考になれば幸いです。

			チェック項目	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
1．全学的な支援体制	組織	1	女性研究者を支援する組織の設置	していない	している	活動をしている
		2	外部評価委員会の設置	していない	している	反映されている
		3	公正で透明性の高い公募を行うためのシステムの導入	していない	している	活用されている
		4	客観的に業績を評価するシステムの導入	していない	している	活用されている
		5	女性を積極的に採用するシステムの導入	していない	している	活用されている
		6	女性を管理職に登用するシステムの導入	していない	している	活用されている
		7	女性研究者を採用する目標値を研究分野別に設定	していない	している	目標が達成されている
		8	女性研究者における研究分野別・職階別の女性比率の把握	していない	している	比率が公表されている
		9	子育てを支援するための予算の配分	していない	している	活用されている
	勤務体制（心おきなく帰宅できる体制）	10	業務を効率化するための取組	していない	している	取り組まれている
		11	会議に関する規則の設定（5時以降に会議時間を予定しない・延長しない）	していない	している	実施されている
		12	定時帰宅日の設定	していない	している	実施されている
		13	男性が育児休業制度を積極的に取得することを周知	していない	している	推進されている
		14	実労働時間に関する調査	していない	している	結果が反映されている
		15	全教職員を対象としたワーク・ライフ・バランスに関する調査	していない	している	結果が反映されている
2．女性研究者支援	子育て支援	16	女性休養室の設置	していない	している	活用されている
		17	授乳室・多目的トイレの設置	していない	している	活用されている
		18	保育施設の設置	していない	している	活用されている
		19	病児・病後児保育施設の設置（他機関との連携も可）	していない	している	活用されている
		20	学童保育施設の設置（他機関との連携も可）	していない	している	活用されている
		21	子育てを支援するための学内宿泊施設の整備（他機関との連携も可）	していない	している	活用されている
	研究教育支援	22	育児期における柔軟な勤務体制の導入（時短勤務、在宅勤務など）	していない	している	活用されている
		23	育児期における職務軽減制度の導入	していない	している	活用されている
		24	在宅勤務を可能にするユビキタス環境整備（ネット対応、TV会議等）	していない	している	活用されている
		25	『次世代育成支援対策行動計画』の周知	していない	している	計画を実行している
		26	出産・育児に配慮した業績評価制度の導入	していない	している	活用されている
		27	子育てと研究のための相談窓口の設置	していない	している	活用されている
		28	学生・院生に対する子育て支援のための育児奨学金制度の導入	していない	している	活用されている
		29	子育て中の女性研究者を支援するための研究補助者の配置	していない	している	活用されている
		30	女性研究者を支援するためのメンター制度の導入	していない	している	活用されている
		31	子育て中の女性研究者のキャリアアップ支援（セミナー・国際活動など）	していない	している	活用されている
		32	研究補助者のキャリアアップ支援	していない	している	活用されている
3．情報支援	情報支援（情報バンクの構築）	33	ホームページによる情報発信	していない	している	活用されている
		34	子育て支援のための冊子作成	していない	している	活用されている
		35	子育て中の女性研究者を支援するための人材バンク構築	していない	している	活用されている
		36	女性研究者を支援するためのロールモデル情報の発信	していない	している	活用されている
		37	女性研究者を支援するための他キャンパス・他機関・地域との連携	していない	している	連携されている
		38	女性研究者間のネットワークの構築	していない	している	活用されている
4．意識啓発	次世代育成の取組	39	女子中高校生向け体験授業（学内・学外）の開催	していない	している	継続している
		40	女子中高校生向けロールモデル情報の発信（DVD・HP・冊子）	していない	している	継続している
		41	女子中高校生向けロールモデルとの交流会の開催	していない	している	継続している
		42	女子中高校生向けイベント・シンポジウムの開催	していない	している	継続している
	意識啓発の取組	43	全職員向け女性研究者を支援するための情報発信（メール・新聞・掲示）	していない	している	継続している
		44	子育て支援に関する勉強会・交流会の開催	していない	している	継続している
		45	ハラスメントを防止するための取組	していない	している	継続している
		46	男性向け子育て支援に関する意識啓発	していない	している	継続している
		47	管理職向け両立支援に関する意識啓発	していない	している	継続している
		48	男女共同参画に対する意識啓発	していない	している	継続している
		49	ダイバーシティを理解するための意識啓発	していない	している	継続している
		50	ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた意識啓発	していない	している	継続している

	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
○の数			
配点	○の数×0点	○の数×1点	○の数×2点
小計	0 点	点	点

合計 /100

「女性が働きやすい雇用環境の度合い」表を見て現在の状況を評価してみましょう。

女性が働きやすい雇用環境の度合い

総合評価	合計点数
A	80～100
B	60～79
C	40～59
D	20～39
E	0～19

取り扱いについて
お茶大インデックスの著作権は、お茶の水女子大学に帰属しており、無断複製等の行為は法律で認められた時を除き、著作権の侵害に当たります。この利用行為を行うときは、お茶の水女子大学の承認手続きが必要です。

お茶大インデックス（2008年度開発版）

お茶の水女子大学

①

2006～2008年度　科学技術振興調整費
女性研究者支援モデル育成事業

女性研究者に適合した雇用環境モデルの構築

取組内容

質的・量的な環境の整備

- 女性支援室、推進室の設置
- 学内保育所、授乳室、宿舎の整備
- 育児支援奨学金の授与
- 育児中の教員の職務軽減制度の導入
- メンター制度の導入
- ポスドク相当の研究補助者の配置
- 業務改善　「アイデアコンテスト」、「アクションプラン」　など

情報環境整備

- 人材バンクの設置
- HPによる情報発信　など

啓発活動

- 女性研究者の諸活動をDVD化
- シンポジウムの開催
- 女子中高生のためのサイエンスフェスティバル開催　など

- 毎週木曜日は定時帰宅日
- 公的会議は5時までに終了

勤務時間9時-5時の徹底化

子育て中の理系（実験系）女性研究者5名にこれらの支援を提供し、仕事と家庭の両立を図りながら優れた研究成果をあげるためにはどのような支援が適切かつ効果的であるかを検証

お茶の水女子大学

②

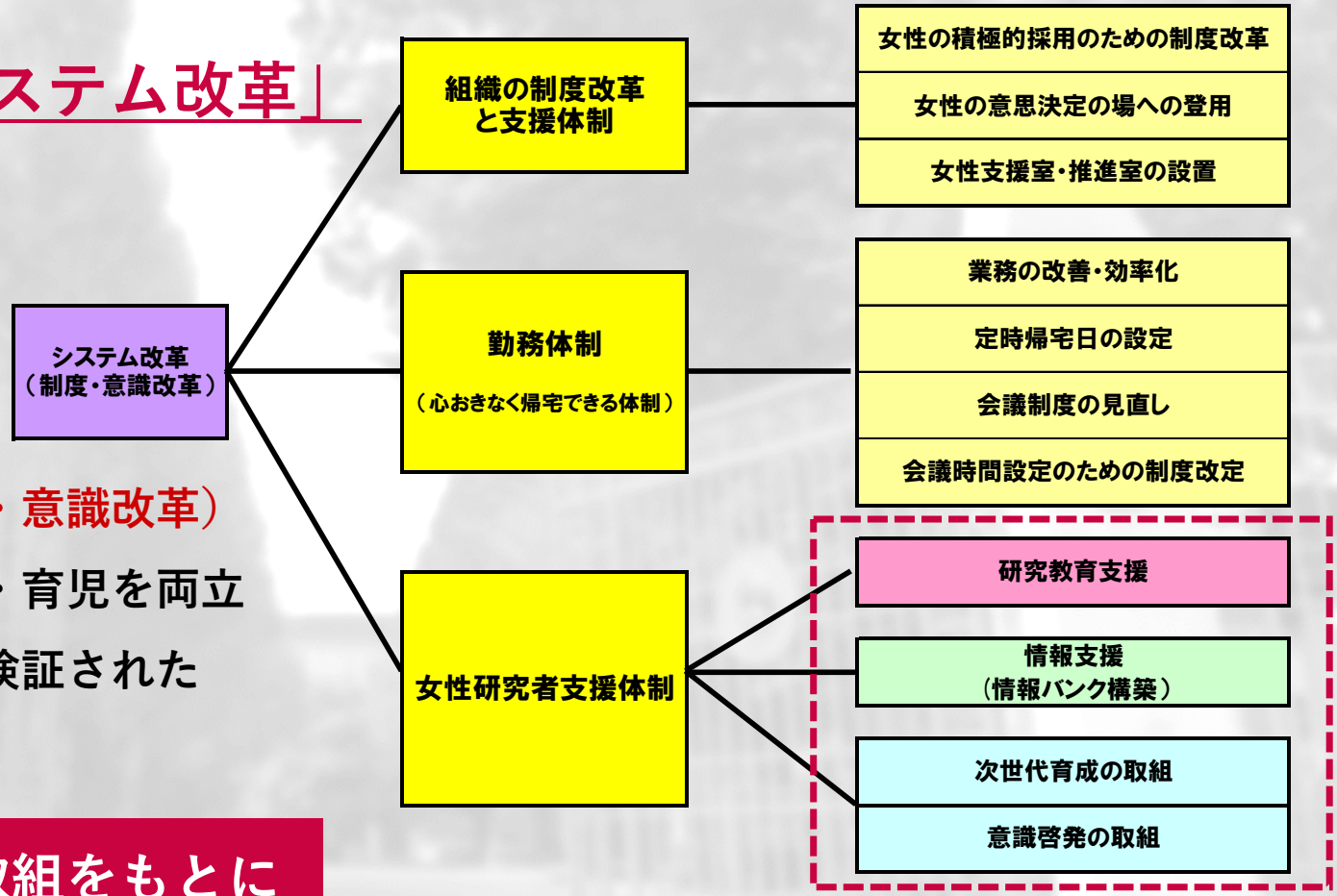
女性研究者が研究と出産・育児を両立させて
その能力を十分に発揮できる

仕組みの構築　＜システム改革＞

雇用環境・体制を整える「システム改革」

学長の強いリーダーシップのもと、
「組織の制度改革と支援体制」、
「勤務体制」、「女性研究者支援」
を整備・実施するシステム改革（制度・意識改革）
を行うことで女性研究者が研究と出産・育児を両立
させつつ能力を十分発揮できることが検証された

**システム改革のために行った取組をもとに
「お茶大モデル」を構築**



お茶大モデル

お茶の水女子大学

③

女性が働きやすい雇用環境を
構築するためのチェックシート

教育・研究機関における雇用環境の自己評価指標
「お茶大インデックス」の開発

「お茶大モデル」をチェックリスト化し、他機関の好事例も加えて「お茶大インデックス」を開発

1.全学的な支援体制

◎　組　織　　インデックス番号1～9（9項目）

1	女性研究者を支援する組織の設置
2	外部評価委員会の設置
3	公正で透明性の高い公募を行うためのシステムの導入
4	客観的に業績を評価するシステムの導入
5	女性を積極的に採用するシステムの導入
6	女性を管理職に登用するシステムの導入
7	女性研究者を採用する目標値を研究分野別に設定
8	女性研究者における研究分野別・職階別の女性比率の把握
9	子育てを支援するための予算の配分

◎　勤務体制（心おきなく帰宅できる体制）　インデックス番号10～15（6項目）

10	業務を効率化するための取組
11	会議に関する規則の設定　（5時以降に会議時間を予定しない・延長しない）
12	定時帰宅日の設定
13	男性が育児休業制度を積極的に取得することを周知
14	実労働時間に関する調査
15	全教職員を対象としたワーク・ライフ・バランスに関する調査

2.女性研究者支援

◎　子育て支援　　インデックス番号　16～21（6項目）

16	女性休養室の設置
17	授乳室・多目的トイレの設置
18	保育施設の設置
19	病児・病後児保育施設の設置（他機関との連携も可）
20	学童保育施設の設置（他機関との連携も可）
21	子育てを支援するための学内宿泊施設の整備（他機関との連携も可）

◎　研究教育支援　　インデックス番号　22～32（11項目）

22	育児期における柔軟な勤務体制の導入（時短勤務、在宅勤務など）
23	育児期における職務軽減制度の導入
24	在宅勤務を可能にするユビキタス環境整備　（ネット対応、TV会議等）
25	『次世代育成支援対策行動計画』の周知
26	出産・育児に配慮した業績評価制度の導入
27	子育てと研究のための相談窓口の設置
28	学生・院生に対する子育て支援のための育児奨学金制度の導入
29	子育て中の女性研究者を支援するための研究補助者の配置
30	女性研究者を支援するためのメンター制度の導入
31	子育て中の女性研究者のキャリアアップ支援　（セミナー・国際活動など）
32	研究補助者のキャリアアップ支援

お茶の水女子大学

3.情報支援

◎　情報支援（情報バンクの構築）インデックス番号 33～38　（6項目）

33	ホームページによる情報発信
34	子育て支援のための冊子作成
35	子育て中の女性研究者を支援するための人材バンク構築
36	女性研究者を支援するためのロールモデル情報の発信
37	女性研究者を支援するための他キャンパス･他機関･地域との連携
38	女性研究者間のネットワークの構築

4.意識啓発

◎　次世代育成の取組　インデックス番号 39～42（4項目）

39	女子中高校生向け体験授業（学内･学外）の開催
40	女子中高校生向けロールモデル情報の発信（DVD･HP･冊子）
41	女子中高校生向けロールモデルとの交流会の開催
42	女子中高校生向けイベント･シンポジウムの開催

◎　意識啓発の取組　インデックス番号 43～50（8項目）

43	全職員向け女性研究者を支援するための情報発信（メール･新聞･掲示）
44	子育て支援に関する勉強会･交流会の開催
45	ハラスメントを防止するための取組
46	男性向け子育て支援に関する意識啓発
47	管理職向け両立支援に関する意識啓発
48	男女共同参画に対する意識啓発
49	ダイバーシティを理解するための意識啓発
50	ワーク･ライフ･バランスの実現に向けた意識啓発

お茶の水女子大学 Ochanomizu University

文部科学省　科学技術振興調整費　女性研究者支援モデル育成プログラム（H18-20年度）

【研究教育機関向け】　女性が働きやすい雇用環境を構築するためのチェック 50（フィフティ）

お茶大インデックス

お茶の水女子大学の女性研究者支援活動からうまれた「お茶大インデックス」は、研究教育機関において、女性が仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を実現し、子育て中でも充実した研究生活をおくる雇用環境を構築するための取組状況を指標にしたものです。
1～50のチェック項目それぞれに、あなたの所属する機関の状況について、Ⅰ～Ⅲの当てはまるものひとつに○を付けてください。各機関での女性研究者支援の取り組みがわかります。評価はあくまでも目やすです。今後の活動の参考になれば幸いです。

			チェック項目	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
1.全学的な支援体制	組織	1	女性研究者を支援する組織の設置	していない	している	活動をしている
		2	外部評価委員会の設置	していない	している	反映されている
		3	公正で透明性の高い公募を行うためのシステムの導入	していない	している	活用されている
		4	客観的に業績を評価するシステムの導入	していない	している	活用されている
		5	女性を積極的に採用するシステムの導入	していない	している	活用されている
		6	女性を管理職に登用するシステムの導入	していない	している	活用されている
		7	女性研究者を採用する目標値を研究分野別に設定	していない	している	目標が達成されている
		8	女性研究者における研究分野別・職階別の女性比率の把握	していない	している	比率が公表されている
		9	子育てを支援するための予算の配分	していない	している	活用されている
	勤務体制（心おきなく帰宅できる体制）	10	業務を効率化するための取組	していない	している	取り組まれている
		11	会議に関する規則の設定（5時以降に会議時間を予定しない・延長しない）	していない	している	実施されている
		12	定時帰宅日の設定	していない	している	実施されている
		13	男性が育児休業制度を積極的に取得することを周知	していない	している	推進されている
		14	実労働時間に関する調査	していない	している	結果が反映されている
		15	全教職員を対象としたワーク・ライフ・バランスに関する調査	していない	している	結果が反映されている
2.女性研究者支援	子育て支援	16	女性休養室の設置	していない	している	活用されている
		17	授乳室・多目的トイレの設置	していない	している	活用されている
		18	保育施設の設置	していない	している	活用されている
		19	病児・病後児保育施設の設置（他機関との連携も可）	していない	している	活用されている
		20	学童保育施設の設置（他機関との連携も可）	していない	している	活用されている
		21	子育てを支援するための学内宿泊施設の整備（他機関との連携も可）	していない	している	活用されている
	研究教育支援	22	育児期における柔軟な勤務体制の導入（時短勤務、在宅勤務など）	していない	している	活用されている
		23	育児期における職務軽減制度の導入	していない	している	活用されている
		24	在宅勤務を可能にするユビキタス環境整備（ネット対応、TV会議等）	していない	している	活用されている
		25	『次世代育成支援対策行動計画』の周知	していない	している	計画を実行している
		26	出産・育児に配慮した業績評価制度の導入	していない	している	活用されている
		27	子育てと研究のための相談窓口の設置	していない	している	活用されている
		28	学生・院生に対する子育て支援のための育児奨学金制度の導入	していない	している	活用されている
		29	子育て中の女性研究者を支援するための研究補助者の配置	していない	している	活用されている
		30	女性研究者を支援するためのメンター制度の導入	していない	している	活用されている
		31	子育て中の女性研究者のキャリアアップ支援（セミナー・国際活動など）	していない	している	活用されている
		32	研究補助者のキャリアアップ支援	していない	している	活用されている
3.情報支援	情報支援（情報バンクの構築）	33	ホームページによる情報発信	していない	している	活用されている
		34	子育て支援のための冊子作成	していない	している	活用されている
		35	子育て中の女性研究者を支援するための人材バンク構築	していない	している	活用されている
		36	女性研究者を支援するためのロールモデル情報の発信	していない	している	活用されている
		37	女性研究者を支援するための他キャンパス・他機関・地域との連携	していない	している	連携されている
		38	女性研究者間のネットワークの構築	していない	している	活用されている
4.意識啓発	次世代育成の取組	39	女子中高校生向け体験授業（学内・学外）の開催	していない	している	継続している
		40	女子中高校生向けロールモデル情報の発信（DVD・HP・冊子）	していない	している	継続している
		41	女子中高校生向けロールモデルとの交流会の開催	していない	している	継続している
		42	女子中高校生向けイベント・シンポジウムの開催	していない	している	継続している
	意識啓発の取組	43	全職員向け女性研究者を支援するための情報発信（メール・新聞・掲示）	していない	している	継続している
		44	子育て支援に関する勉強会・交流会の開催	していない	している	継続している
		45	ハラスメントを防止するための取組	していない	している	継続している
		46	男性向け子育て支援に関する意識啓発	していない	している	継続している
		47	管理職向け両立支援に関する意識啓発	していない	している	継続している
		48	男女共同参画に対する意識啓発	していない	している	継続している
		49	ダイバーシティを理解するための意識啓発	していない	している	継続している
		50	ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた意識啓発	していない	している	継続している
			○の数			
			配点	○の数×0点	○の数×1点	○の数×2点
			小計	0 点	点	点

合計　/100

「女性が働きやすい雇用環境の度合い」表を見て現在の状況を評価してみましょう。

取り扱いについて

お茶大インデックスの著作権は、お茶の水女子大学に帰属しており、無断複製等の行為は法律で認められた時を除き、著作権の侵害に当たります。この利用行為を行うときは、お茶の水女子大学の承認手続きが必要です。

女性が働きやすい雇用環境の度合い	
総合評価	合計点数
A	80～100
B	60～79
C	40～59
D	20～39
E	0～19

お茶大インデックス（2008年度開発版）

お茶の水女子大学

2.「お茶大インデックス」を用いた教育・研究機関の雇用環境評価

1）自機関の取組状況を3段階でチェックして点数化する

			チェック項目	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
1・全学的な支援	組織	1	女性研究者を支援する組織の設置	していない	している	活動をしている
		2	外部評価委員会の設置	していない	している	反映されている
		3	公正で透明性の高い公募を行うためのシステムの導入	していない	している	活用されている
		4	客観的に業績を評価するシステムの導入	していない	している	活用されている
		5	女性を積極的に採用するシステムの導入	していない	している	活用されている
		6	女性を管理職に登用するシステムの導入	していない	している	活用されている
		7	女性研究者を採用する目標値を研究分野別に設定	していない	している	目標が達成されている
		8	女性研究者における研究分野別・職階別の女性比率の把握	していない	している	比率が公表されている
		9	子育てを支援するための予算の配分	していない	している	活用されている
			○1つの点数	0点	1点	2点

各項目についてⅠ～Ⅲのうち
当てはまるものに○をつける

Ⅰ・・・していない
Ⅱ・・・している
Ⅲ・・・活動をしている、
反映をしている　など
Ⅱの回答よりアクティブな回答

2)算出された点数から自機関を評価

	48	男女共同参画に対する意識啓発	していない	している	継続している
	49	ダイバーシティを理解するための意識啓発	していない	している	継続している
	50	ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた意識啓発	していない	している	継続している
		○の数			
		配点	○の数×0点	○の数×1点	○の数×2点
		小計	0 点	点	点
		合計			/100

取り扱いについて

お茶大インデックスの著作権は、お茶の水女子大学に帰属しており、無断複製等の行為は法律で認められた時を除き、著作権の侵害に当たります。この利用行為を行うときは、お茶の水女子大学の承認手続きが必要です。

女性が働きやすい雇用環境の度合い

評価	合計点数
A	80～100
B	60～79
C	40～59
D	20～39
E	0～19

「女性が働きやすい雇用環境の度合い」表を見て現在の状況を評価してみましょう。

Ⅰ～Ⅲの合計得点

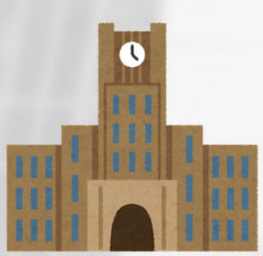
総合評価

A：非常に充実した支援がなされており、女性が働きやすい雇用環境といえます。
B：充実した支援がなされており、女性が働きやすい環境がほぼ構築されています。
C：さらなる支援を行い、女性が働きやすい環境の構築を目指しましょう。
D：やや支援が不足しています。女性が働きやすい環境の構築に努めましょう。
E：支援が不足しています。女性が働きやすい環境の構築に力を注ぎましょう。

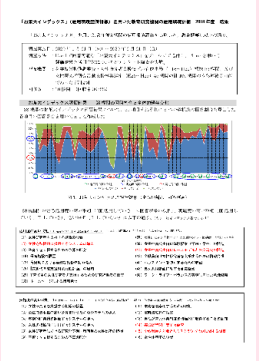
お茶の水女子大学

3)評価結果をお茶の水女子大学に提出

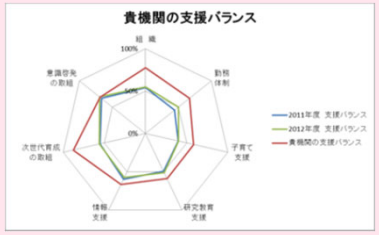
4)分析結果などを返却



お茶の水女子大学
Ochanomizu University



分析結果レポート



支援バランス
レーダーチャート

協力機関の評価結果
の共有（ID表示）

COSMOS Work Book
（支援手法をまとめたもの）

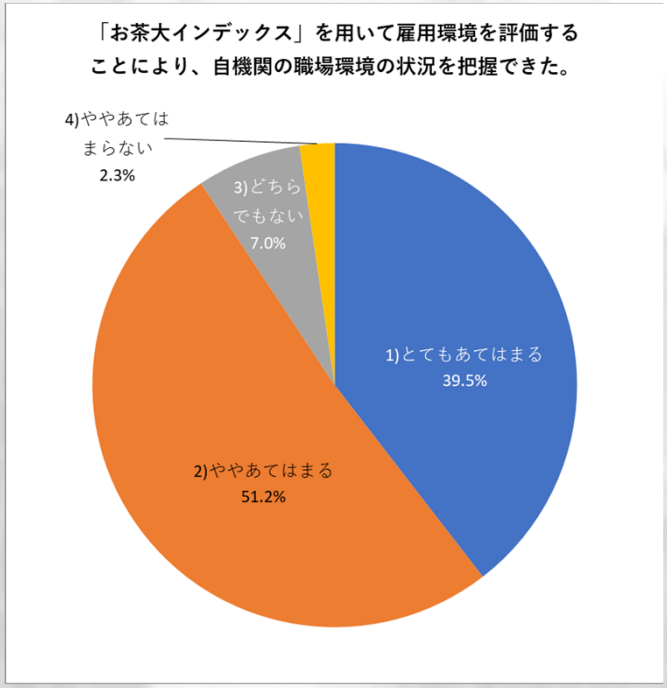
自己点検
に活用

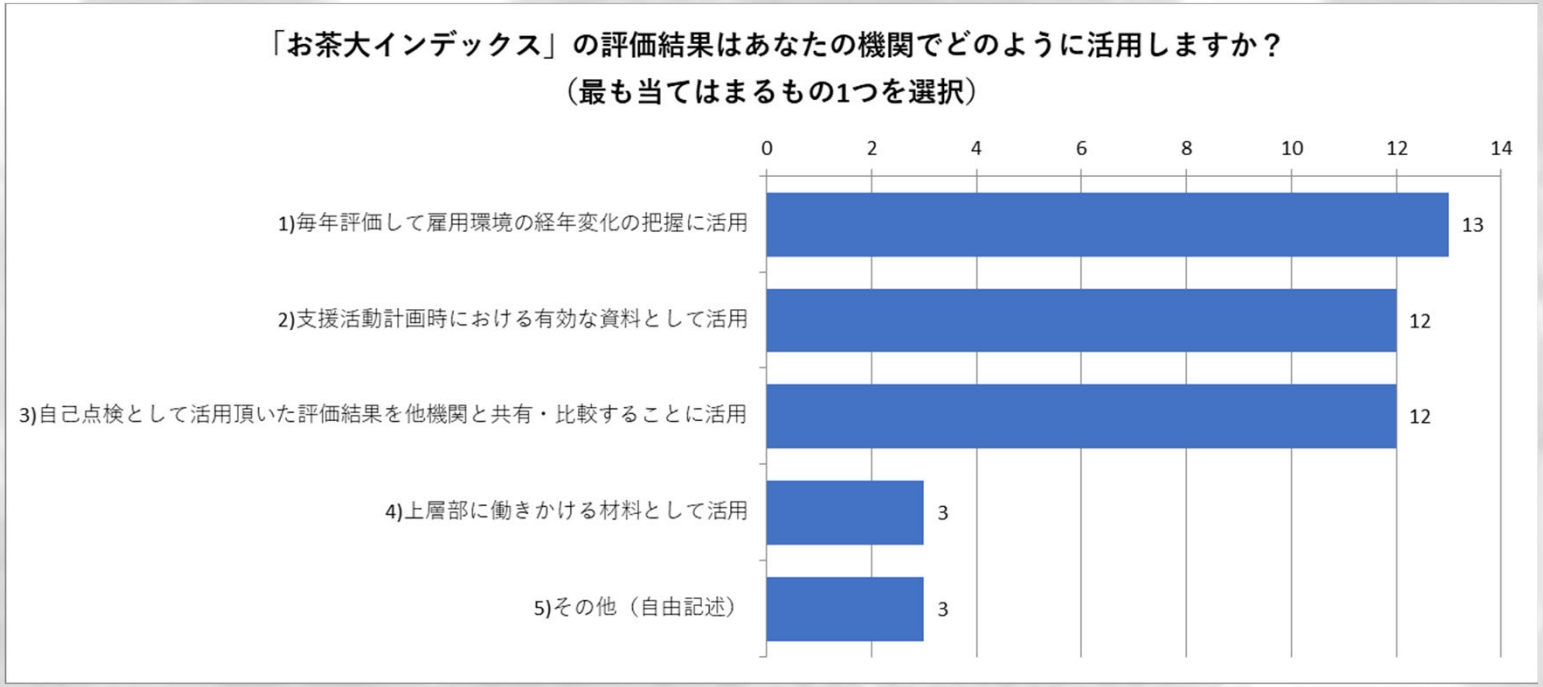
経年変化
を把握

支援活動
の見直し

3.　評価結果の活用

2020年度　調査結果（43機関）の活用方法





お茶大インデックスを用いて
約１０年間　教育・研究機関の雇用環境調査を実施

2010 年度～2020 年度における
「お茶大インデックス」回答機関数

実施年度	回答機関数
2010年度	33機関（回収率63.5%）
2011年度	32機関（回収率49.2%）
2012年度	36機関（回収率48.0%）
2013年度	37機関（回収率41.6%）
2014年度	46機関（回収率46.9%）
2015年度	42機関（回収率42.9%）
2016年度	41機関（回収率41.8%）
2017年度	38機関（回収率38.0%）
2018年度	実施せず（改訂版作成）
2019年度	38機関（回収率：39.2%）
2020年度	43機関（回収率：42.2%）

2010 年度～2020 年度における
「お茶大インデックス」評価結果（平均得点）

年度	総合得点	1.全学的な支援体制		2.女性研究者支援		3.情報支援	4.意識啓発	
		組　織	勤務体制	子育て支援	研究教育支援	情報支援	次世代育成の取組	意識啓発の取組
	100	18	12	12	22	12	8	16
2010年度	48.76	9.67	4.70	5.21	9.58	6.24	3.94	9.42
2011年度	52.66	9.78	5.31	4.75	10.78	7.13	4.41	10.50
2012年度	54.58	9.89	6.03	4.83	11.28	6.92	4.50	11.14
2013年度	55.51	10.05	5.97	5.41	10.92	7.30	4.43	11.43
2014年度	58.76	10.17	5.20	5.11	10.72	7.50	5.04	11.33
2015年度	60.10	10.79	5.60	5.90	12.14	8.29	5.24	12.14
2016年度	61.80	10.83	6.20	6.15	12.78	8.05	5.32	12.49
2017年度	62.39	11.08	6.50	5.71	12.82	8.21	5.55	12.53
2018年度	改訂版インデックス開発のため調査実施せず							
2019年度	69.11	12.66	7.71	6.50	13.50	8.74	6.18	13.82
2020年度	70.67	13.77	7.26	6.65	14.77	8.56	6.21	13.47

お茶の水女子大学

「お茶大インデックス」の改訂　（2020年度実施）

			チェック項目
1・全学的な支援体制	組　織	1	女性研究者を支援する組織（本部、室、センター、部門など）の設置
		2	外部評価委員会の設置や外部評価の実施
		3	公正で透明性の高い公募を行うための~~システム~~制度や仕組みの導入
		4	客観的に業績を評価する~~システム~~制度や仕組みの導入
		5	女性を積極的に採用する~~システム~~制度や仕組みの導入
		6	女性を管理職に登用する~~システム~~制度や仕組みの導入
		7	女性研究者を採用する目標値を~~研究分野別に~~設定
		8	女性研究者における研究分野別・職階別の女性比率の把握
		9	~~子育て女性~~研究者を支援するための予算の配分
	勤務体制（心おきなく帰宅できる体制）	10	業務を効率化するための取組
		11	会議に関する規則の設定　（5時以降に会議時間を予定しない・延長しない）
		12	定時帰宅日の設定
		13	男性が育児休業制度を積極的に取得することを周知・促進
		14	実労働時間に関する調査
		15	全教職員を対象としたワーク・ライフ・バランスに関する調査
2・~~女性~~研究者支援	子育て支援	16	女性休養室~~（女性が安心して休息できるスペース）~~の設置
		17	授乳室（授乳スペース）・多目的トイレ（おむつ替えスペース、子ども用便座、ベビーチェアの設置含む）の設置
		18	保育施設（一時保育含む）やベビーシッター手配のための支援（経費支援・利用補助券配布含む）
		19	病児・病後児保育施設の設置　（利用補助券配布、他機関との連携も可）
		20	学童保育施設の設置　（期間限定開設、他機関との連携も可）
		21	子育てを支援するための~~学内~~機関内宿泊施設の整備　（他機関との連携も可）
	研究~~教育~~支援	22	育児期における柔軟な勤務体制の導入（時短勤務、在宅勤務など）
		23	育児期における職務軽減制度（非常勤講師配置制度、代替要員配置制度含む）の導入
		24	在宅勤務を可能にするユビキタス環境整備　（ネット対応、TV・WEB会議等）
		25	次世代育成支援対策行動計画や女性活躍推進対策行動計画、一般事業主行動計画の機関内外への周知
		26	出産・育児・介護に配慮した業績評価制度の導入
		27	研究や子育て~~と~~・介護のための相談窓口の設置
		28	学生・院生に対する子育て支援のための育児奨学金制度の導入
		29	~~子育て中の女性~~研究者を支援するための研究補助者（支援員）の配置
		30	女性研究者を支援するためのメンター制度の導入
		31	~~子育て中の~~女性研究者のキャリアアップ支援　（英語関連セミナー、国際学会発表支援、リーダー・PI育成~~国際活動~~など）
		32	研究補助者（支援員）のキャリアアップ支援（セミナー開催、キャリア相談など）
3・情報支援	情報支援とネットワーク構築~~（情報バンクの構築）~~	33	研究者支援の取組状況や成果を発信するためのホームページの設置~~による情報発信~~
		34	子育てや介護に関わる手続きや利用可能な支援を紹介するための冊子（WEBでの紹介含む）作成
		35	~~子育て中の~~女性研究者を支援（研究補助、事務補助、子育て補助など）するための人材（人財）バンク構築
		36	女性研究者を養成・支援するためのロールモデル情報（事例集）の発信
		37	女性研究者を支援するための他キャンパス・他機関・地域とのネットワーク連携、コンソーシアム設置
		38	女性研究者間のネットワークの構築（メーリングリスト作成、WEB、SNSなど）
4・意識啓発	次世代育成の取組（女性研究者の裾野拡大の取組）	39	女性研究者増に関わる女子中高校生、女子大学生向け~~体験~~授業・セミナー（ラボ見学、インターンシップ含む~~学内・学外~~）の開催
		40	女子中高校生向け女性研究者ロールモデル情報の発信（DVD・HP・冊子）
		41	女子中高校生向け女性研究者ロールモデルとの交流会の開催
		42	女子中高校生向け女性研究者増に関わるイベント・シンポジウムの開催
	意識啓発の取組	43	~~全職員向け女性研究者を支援するための機関内向け~~研究者支援に関わる情報発信（メール・新聞広報誌・掲示・WEB）
		44	子育てや介護~~支援~~に関する勉強会・交流会の開催
		45	ハラスメントを防止するための取組
		46	男性向け子育て・介護支援に関する意識啓発
		47	管理職向け働き方や両立支援に関する意識啓発
		48	男女共同参画推進に向けた~~対する~~意識啓発や女性研究者支援に関わる表彰制度や顕彰制度の実施
		49	ダイバーシティ&インクルージョンを理解するための意識啓発
		50	ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた意識啓発

			チェ
1・全学的な支援体制	組　織	1	女性研究者を支援する組織（本部、室、センター、部門など）の設置
		2	外部評価委員会の設置や外部評価の実施
		3	公正で透明性の高い公募を行うための~~システム~~制度や仕組みの導入
		4	客観的に業績を評価する~~システム~~制度や仕組みの導入
		5	女性を積極的に採用する~~システム~~制度や仕組みの導入
		6	女性を管理職に登用する~~システム~~制度や仕組みの導入
		7	女性研究者を採用する目標値を~~研究分野別に~~設定
		8	女性研究者における研究分野別・職階別の女性比率の把握
		9	~~子育て女性~~研究者を支援するための予算の配分
	勤務体制（心おきなく帰宅できる体制）	10	業務を効率化するための取組
		11	会議に関する規則の設定　（5時以降に会議時間を予定しない・延長しない）
		12	定時帰宅日の設定
		13	男性が育児休業制度を積極的に取得することを周知・促進
		14	実労働時間に関する調査
		15	全教職員を対象としたワーク・ライフ・バランスに関する調査

【改定ポイント】

・評価項目は50項目のまま。評価尺度も３段階（Ⅰ～Ⅲ）のまま。

・女性研究者増を目指した雇用環境の構築指標であるが、男性に対する支援等も多々実施されているため、女性に特化した表現にならないよう配慮。

・50項目で評価することができない効果的な取組を書き込む自由記述欄を設け、評価結果報告書においてその取組を紹介する。

お茶の水女子大学

「お茶大インデックス」の50項目で評価できない効果的な取組（2020年度調査より）

※公表許可をいただいた内容のみ掲載

・利用者にサポーターを配置する大学独自のシステム「ならっこネット」を開発し運用している
（奈良女子大学）

・次世代育成の取組の一つとして、平成27年度より再開講した全学教育科目基幹科目（社会論）
「ジェンダーと人間社会」を開講し、1年生を中心とする学生の男女共同参画への意識醸成に努めている。
（東北大学）

・マネジメントやガバナンスへの女性のコミット具合など。（首都圏 私立大学）

「お茶大インデックス」に対する意見や改善案（2020年度調査より）

・改定の結果、最近の標準的な取組がチェック項目になり、評価しやすくなりました。
女子中高生や男性の支援に配慮した点は良い方向性だと考えます。

・非常勤から常勤への登用、任期付きから任期無しへの切り替え、執行部における女性比率、
インパクトランキングへの参加状況、教員一人当たりの男女共同参画予算などをカウントしてみては？

・女性＝子育て　ではないので、いろいろなライフスタイルやライフステージにあわせた指標開発、
そして女性研究者以外の人を含めた働きやすさの指標に寄せていくと良いように思いました。

お茶の水女子大学

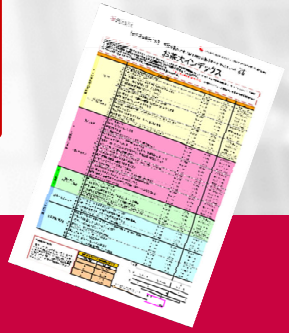
経年変化
を把握

調査開始の2010年度と比較して、
「お茶大インデックス」の評価得点（平均得点）や最高得点は
飛躍的に向上

自己点検
に活用

支援活動
の見直し

「お茶大インデックス」を用いた継続的な調査によって
教育・研究機関において女性が働きやすい雇用環境が
全国的に整備・推進されつつある様子を示すことができた



インデックス、Work Bookの
さらなる改訂
も検討

「お茶大インデックス」は評価基準達成への取組として
我が国の教育・研究機関における雇用環境評価のスタンダードとして活用されるよう、
さらなるデータの収集と分析結果の発信・波及につとめ、
ひいては我が国における教育・研究機関全体の雇用環境改善の促進に貢献したい。

Ochanomizu University

ご清聴ありがとうございました

お茶大インデックスを用いた雇用環境調査にご協力いただきました機関の皆様に心よりお礼申し上げます。

2021年度も調査を実施します。ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

お茶の水女子大学